

平成 25 年 6 月 14 日

各 位

会 社 名 アウンコンサルティング株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 信 太 明
(コード番号 2459 東証マザーズ)
問 合 せ 先 管理担当執行役員
中田 茂樹
T E L 0 3 - 5 8 0 3 - 2 7 2 7

特別損失の計上及び業績予想の修正、剰余金の配当(無配)に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 5 月期(平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)決算において、下記のとおり特別損失(有価証券評価損、固定資産の減損損失)を計上することになりましたので、お知らせいたします。また、平成 24 年 7 月 12 日に公表しました平成 25 年 5 月期通期(平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)の業績予想の修正及び剰余金の配当(無配)につきまして、平成 25 年 6 月 14 日開催の取締役会において、下記のとおり決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

当社グループは平成 25 年 5 月期において重要な経営課題である事業構造の転換と事業領域の拡大を推進すべく、経営資源の選択と集中を徹底して進めてまいりました。足元の業績が回復している中、収益性が低下している事業は強い意思を持って全て整理あるいは合理化の経営判断を下し、一方で順調に伸びている事業や R&D 機能には集中的に経営資源を投下することで、事業のスクラップアンドビルドを完了させました。また、円高の時期に開設した海外法人については、日系や現地企業への営業体制が整いました。これをもって、平成 26 年 5 月期においては国内外において収益力を高めた新たな組織体制でスタートすることが出来ております。

今後は、業績回復の流れを確たるものとし、より一層の経営努力を重ねてまいりますので、株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 特別損失の計上及びその内容

(1) 有価証券評価損

「子会社株式及び関連会社株式」に区分される保有有価証券のうち、時価が下落し、その回復があると認められないものについて、平成 25 年 5 月期において減損処理を行い、76 百万円を特別損失(有価証券評価損)として計上いたします。

(2) 固定資産の減損損失

現在の事業環境を踏まえて、収益性が低下している一部の固定資産について回収可能性を検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」等に基づき保有する固定資産の減損処理を行い、平成 25 年 5 月期において、4 百万円を特別損失(減損損失)として計上いたします。

2. 平成 25 年 5 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 24 年 6 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,574	12	12	12	円 銭 1.72
今回修正予想(B)	1,400	△66	△24	△30	△4.15
増減額(B-A)	△174	△78	△36	△42	-
増減率(%)	△11.1%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 5 月期)	1,460	△135	△129	△130	△17.96

(金額の単位:百万円)

3. 剰余金の配当(無配)

	決定額	直近の配当予想 (平成 25 年 4 月 11 日公表)	前期実績 (平成 24 年 5 月期)
基準日	平成 25 年 5 月 31 日	平成 25 年 5 月 31 日	平成 24 年 5 月 31 日
1 株当たり配当金	0 円	未定	150 円
配当金の総額	-	-	10,864 千円
効力発生日	-	-	平成 24 年 8 月 13 日
配当原資	-	-	利益剰余金

※当社は、平成 24 年 12 月 1 日付で 1 株につき 100 株の割合で株式分割を行っております。

前年会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1 株当たりの当期純利益を算定しております。

また、平成 24 年 5 月期の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

4. 業績修正及び剰余金の配当(無配)の理由

当社グループにおける企業の PPC 広告(リスティング広告)出稿需要の取り込みや翻訳事業の順調な拡大、海外法人のグループ利益貢献が進んだ事により、平成 24 年 5 月期比において業績の状況は改善しております。一方で、SEO については従来型の対策を見直し、アルゴリズムの動向に大きく左右されない本質的な施策の継続的な取り組み段階にあり、売上及び利益計画に遅れが出ております。

また、現在の事業環境を踏まえ、当社グループにおいて時価の下落や収益性が低下しているものについては、子会社の有価証券評価損の計上及び固定資産の減損損失による特別損失を計上することとしました。このため、第 4 四半期において当初予想を下回る見込みとなるため、上記の通り業績予想を修正させていただきます。

平成 25 年 5 月期の配当につきましては、足元の業績は改善しているものの、このたびの特別損失の計上による財務状況並びに経営環境等を勘案し、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。株主の皆様には深くお詫び申し上げます。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。

以上